



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 7 月 28 日(木)～8 月 2 日(火)
北東北インターハイ開催 編

7 月 28 日から 8 月 2 日まで、北東北インターハイバスケットの試合が、能代市総合体育館で行われました。全国から高校生達が「バスケの街」能代へやってくるのです。

木都能代らしく皆さんをお迎えしようと、白神ネットワークの木ベンチ、Eベンチ、木のテーブルとパラソルを体育館前の広場中央へ設置しました。このしつらいが、もともとそこに前からあるようにしっくりなじんで、腰掛けて一息ついて、という憩いの空間となり、大好評でした。

これは、5 月の「能代カップ」で、この木を生かした空間を提案してみたところ評判がとてもよかったため、インターハイでも設置することになったというもの。これまでの「まち灯り」「嫁見まつり」「まちなか美術展」での空間づくりの良さが、だんだん広がってきたなあ、と喜んでいいのでは。

期間中、背の高いバスケの選手たちが、試合の合間におみやげのブースをのぞいていたり、子ども館広場の食べ物ブースで食事をしたりと楽しんでいましたね。他県から来た選手が、試合を見に来る一般観客の多さに、「さすが能代だ」と驚いていました。

他県から来てくれたたくさんの人や、もちろん能代の人たちにも、「バスケの街」と共に「木都能代」を感じていただけたのでは、と思います。

文： 平山 はるみ



お天気にも恵まれ、体育館前にはたくさんの高校生が楽しそうに集まっています。バスケットにこだわったお菓子もあり、おみやげやさんも大盛況。



選手や関係者だけでなく、多くの来場者にも木の空間を楽しんでいただけたのではないのでしょうか。